

d e f ファイルコマンド仕様

1. NCファイルと同じ名前で拡張子がd e f のファイル名です。
2. テキストファイル形式、各セクションの項目で区切られていますがセクションの順番の規定はありません。

3. 関連ファイルセクション

CAM で工程表出力された d e f ファイルに書き込まれます。

NC データのみの場合このセクションを書き込んで下さい。

LINK_FILE_LIST: ヘッダー

関連ファイルがカンマで区切られて書き込まれています。

例) 0.nc,0.def,0.jpg,0.cab (nc ファイル名、def ファイル名、画像ファイル名)
外部ファイルの場合 cab ファイル名は無し

LINK_FILE_LIST_END: フッター

4. 工具リストセクション

CAM で工程表出力された d e f ファイルに書き込まれます。

TOOL_LIST: ヘッダー

使用工具がカンマで区切られて書き込まれています。

例)

(T,D,H,工具種類、工具色、工具径、半径、角度、刃長)

d10,d10,d10,d1,l16776960,f10.000,f0.000,f0.000,f0.000

d6,d6,d6,d1,l8421504,f6.000,f0.000,f0.000,f0.000

d4,d4,d4,d1,l8421504,f4.000,f0.000,f0.000,f0.000

TOOL_LIST_END: フッター

4.ホルダーリストセクション

NcGT でホルダーを登録しているとき、工具リストの中に入れ子で書き込まれます。

TOOL_LIST: ヘッダー

(T,D,H,工具種類、工具色、工具径、半径、角度、刃長、常に0、シャンク1下径、
シャンク1上径、シャンク1長さ、シャンク2下径、シャンク2上径、
シャンク2長さ)

書式

T,D,H,工具種類の整数値は前に、小文字の d を付けます。

工具種類番号

エンドミル = 1

フェイスミル= 4

ドリル	= 7
リーマ	= 9
タップ	= 1 0
ボーリング	= 1 6
面取り	= 2 2

色番号 前に 1（小文字の L）を付けます。

グレー	= 8421504
青	= 16711680
緑	= 65280
水色	= 16776960
赤	= 255
紫	= 16711935
黄	= 65535
白	= 16777215
濃い青	= 8388608
濃い緑	= 32768
濃い水	= 8421376
濃い赤	= 128
濃い紫	= 8388736
濃い黄	= 32896

工具径等実数値は前に、小文字の f を付けます。

ホルダー名

前に小文字の s を付けて [] の中に名前を入れます。

d10,d10,d0,d1,l65535,f10.000,f3.000,f0.000,f15.000,d0,f0.000,f0.000,f0.000,f0.000,f0.000,f0.000

d6,d6,d0,d1,l16776960,f6.000,f3.000,f0.000,f10.000,d0,f6.000,f8.000,f5.000,f8.000,f0.000,f3.000

HOLDER_LIST: ヘッダー

（関連工具番号、ホルダー色、ホルダー名、下径、長さ、上径：段数に応じて
下径、長さ、上径：が続きます）

d10,l16777215,s[HOLDER-01] 15,5,15;20,6,25;30,8,30;

d6,l16777215,s[HOLDER-01] 15,5,15;20,6,25;30,8,30;

HOLDER_LIST_END: フッター

TOOL_LIST_END: フッター

5. メモセクション

NcDB でメモ機能保存時に d e f ファイルに書き込まれます。

MEMO: ヘッダー

メモビューの内容が書き込まれています。

例

図版

作成者

訂正日

MEMO_END: フッター